



- ねらい** 仲間と協力して課題を解決する活動を通じ、協力することの大切さに気づき、チーム力を向上させます。
- 対象** 小学校高学年以上
- 人数** 1グループ6人～8人
- 時間** 1時間
- 場所** 室内
- 準備** 約2mの紐3本×グループ数、バケツ、空き缶、空き瓶、ボール、ブルーシート、ストップウォッチ

事前準備

- 6名1グループで活動します。
グループごとに紐3本、ボール、バケツ、ブルーシートを各1ずつ準備します。
(ブルーシートの大きさは1㎡程度)

実際の活動

●活動の進め方

レスキュー(災害救助活動)という設定で活動を行います。

1グループ=6人

設定:ブルーシート→湖 3本の紐→ヘリコプター ボール→溺れている人
バケツ→総合病院 缶→公民館 ビン→民家 として災害救助活動と位置付けます。

- ルール:紐(ヘリコプター)を使って、ブルーシート(湖)から、ボール(人)を救出するゲームです。

2人で1本の紐の両端を持ちます。

3本の紐でブルーシートの上に置いたボールを持ち上げ、
ゴールポイント(バケツ・缶・ビン)の上ののせます。

紐でボールを結んだり、からめたりはできません。

ボールが落ちたら、その場所から再開します。

(スタート地点へ戻らなくてよいこととします)

ブルーシート(湖)を踏んではいけません。

他のチームとの競争ではありません。

- グループごとに、活動に取り組みます。

まずは、湖(ブルーシート)から、総合病院(バケツ)に救助します。

総合病院への救助活動が成功したグループは、総合病院までの距離を遠くするなど、難易度を上げさせます。

- すべてのグループが総合病院への救助活動に成功したら、公民館(缶)に挑戦させます。

同様に、すべてのグループが公民館への救助活動に成功したら、民家(ビン)に挑戦させます。

- 発展として、「より早い救出」(自分たちでタイムを計ります)や「より遠くへの救出」(自分たちで救出先を遠くへと移動します)と、グループごとに難易度を上げさせます。

留意点

- 難易度をどのように上げるかは、グループに任せ、グループ間の競争にならないようにします。

